

敬 仁

平成19年 4月25日発行
特別養護老人ホーム
(指定介護老人福祉施設)

溪 山 荘

発行人／櫻井誓行
編集人／敬仁編集委員



いのちの誕生を祝い、家族で盛大に迎える。平成19年3月20日、澤田ちる様が百二歳を迎え、元日に入居されました。皆様、職員一同勢揃いでお祝いいたします。

溪山 新入職員の研修

施設長 櫻井誓行

毎年、4月最初の出勤日に溪山荘の入社式を行っています。今年は、第二溪山荘の開設に合わせて30数名の職員を採用したこともあって、大変な賑わいと、また同時に深い緊張感につつまれた入社式となりました。

新採用職員のほとんどがこの春卒業したばかりの人たちです。辞令交付の際、壇上から見る彼らは何かしら不安そうに見えますが、しかし、生き生きとした眼光の奥には明らかに期待と希望を抱いた旅立ちであることが読み取れました。

私は一人一人に辞令を渡すうちに、彼らの期待と希望の生き生きパワーが移入されたのか、何かしら武者震いのようなものを覚えました。そして同時に、彼らのこのパワーがいつまでも持続されるように祈らずにはられません。

さて、これら新入職員の三分の二が介護職員として配属されます。昨今は、ハイレベルの介護知識や介護技術が求められます。就業前教育なしには業務に就けません。そんな乱暴なことをしたら、一挙に期待・希望パワーが抜けてしまいます。慎重に人材育成を図っていかねばなりません。

特に、専門知識や技術が皆無に等しい高校新卒の職員には、初期教育がきわめて重要です。先輩職員の思いつきによる単発的な知識や技術を習得させるのではなく、総合的且つ系統的に知識(理論)や技術を習得させることが必要です。そのような思いから、昨年末から3~4ヶ月間かけて新入職員用の教科書作りを行ってきました。これはまた難作業の連続でした。

各部署の主任・副主任が昼夜の討議を重ね、今日まで積

み上げてきたマニュアルの集大成作業を辛抱強く行ってきました。どうか今春の新入職員研修に間に合いました。

一時に、30数名もの新入職員の受け入れは経験がなく、私共も相当の緊張感が走ります。一日も早く、業務に関しての、必要にして十分なる基礎力を身に付けさせ、何の不安もなく現場就労へと軟着陸させてあげたいものです。

●主な内容

溪山春秋	1頁
入居者から聞く	2頁
友愛訪問を終えて	2頁
みんなのアルバム	3頁
スナップ(あんなこと・こんなこと)	4頁
高齢者とケア	5頁
デイサービスセンターだより	5頁
情報公開について	6頁
ご協力ありがとうございました	6頁

●主な行事予定(4月~6月)

4月 2日(月)	辞令交付式、理事長訓示
4月 3日(火)	入居者米寿お祝会
4月 5日(木)	お花見会
4月15日(日)	家族の会総会
4月18日(水)	入居者米寿お祝会
4月21日(土)	誕生会
5月10日(木)	バイキングの日
5月19日(土)	大運動会
5月23日(水)	誕生会
6月 1日(金)	開所記念日
6月 4日(月)	しょうぶ湯
6月 5日(火)	しょうぶ湯
6月13日(水)	バイキングの日
6月27日(水)	誕生会



入居者から聞く

ひだまり (ぽっかぽっか) 第34回

今回は、いつも朗らかな、安田はつゑさんにお話を聞かせていただきました

安田はつゑさん

大正4年12月22日生(91歳)



聞き手:介護職員 柴田 裕子

写真・個人情報は、ご本人・ご家族の了解を得て掲載しています。

柴田介護職員：おはようございます。

安田さん：おはようございます。

柴田介護職員：安田さんは、溪山荘にいられて何年ぐらい経たれましたか？

安田さん：昨年か、おととしか、私はいったい、いつ頃から来たのかしら、お正月を何回迎えたのかな・・・10年ぐらい経ったのかしら・・・ウフフ

柴田介護職員：はい、わかりました。

それでは、好きな色は何色ですか？

安田さん：白ですね。着る服によっては黒色もええね。灰色も好きですよ・・・

柴田介護職員：好きな歌を教えてください。

安田さん：歌いますヨ。“春よ来い”、“早く来い”、♪♪♪ (二人で一緒に歌う)

この歌は、春らしく、歌いやすくて好きですヨ。やっぱり、童謡は大好きですね。

植木 等さんの「スーダラ節」も好きですね。

柴田介護職員：色々お話を聞かせていただいてありがとうございます。

これからもよろしくお願いいたします。

安田さん：いいえ、こちらこそよろしく願います。

柴田介護職員：どうもありがとうございました。

「溪山荘」友愛訪問を終えて

3月22日、敦賀市松原児童館34名の皆さん方が、溪山荘をお訪ね下さいました。歌と劇を発表いただき、楽しいひと時を過ごさせていただきました。児童の皆さんから「友愛訪問を終えて」お手紙をいただきました。ご披露させていただきます。

ありがとうございました。

○けい山荘へ行ったこと

前にもけい山荘へ行きました。その時は初めてだったので、すごくきんちょうしました。でも、きょう行った時は全くきんちょうしませんでした。

わたしは、雪の子の役でけっこう出番が多くうれしかったです。前の劇では、カニの役をしてその時も出番が多かったです。今年は劇を見てくれる、おじいちゃん・おばあちゃんが少なく、前の劇よりもすごく静かでした。劇が終わって最後のプレゼント渡しの時は、前のプレゼント渡しとっしょでプレゼントを渡した後に、全員でおじいちゃん・おばあちゃんの肩をたたきました。 3年 う野 せりえさん

○けい山荘へ行ったこと。

きょう、けい山荘に行きました。これで2回行きました。1回目は、サルカニ合戦をしてきました。ぼくは、サル役で一番きんちょうしました。何もはずかしいことはなかったのですが、クリがはじけてサルにあたり、ぼくはこけたまねをしたら「がんばれ」といわれました。

2回目に行った時は、「かさじぞう」をしに行きました。ぼくは、おじいさんの役をしました。おじいさんは、

一番せりふが多かったです。かさじぞうはサルカニ合戦よりか、すごくたいへんでした。

また、けい山そうへ行きたいけど、児童館は3年生までだから次からはいけません。 3年 岸本 佳宏君

○けいざんそうをほうもんして

ぼくは、「かさじぞう」の役で、カラスの役でした。さいしょはきんちょうしました。はっぴょうがうまくできてよかったです。おうえんしてくれてよかったです。元気でいてください。びょうきをふっとばして、がんばってください。 3年 小林 遼君

○けい山そうへ行ったこと

けいざんそうへ行きました。わたしは、「かさじぞう」の劇のおばあさん役でした。きんちょうはしなかったけど、ドキドキしました。けど言葉が少なかったからすぐおぼえたので、大きな声ではっきりと言えました。とてもよかったです。歌の時は、前のほうに行けなかったけど、大きな声で歌えたので楽しかったです。また、けいざんそうへ行きたいです。 3年 高木 ずほさん

○けい山荘へ行ったこと

けいざんそうへ行った時、なんだかきんちょうしました。わたしが、「ふるりの歌を歌います。いっしょに歌ってください。」と言ったら、いっしょに歌ってくれたおじいちゃんやおばあちゃんがいたのでとてもうれしかったです。だから、劇の時も、大きな声ではっきりと言えたのでうれしかったです。また、「ゆきやこんこん・あられやこんこん」の歌もいっしょに歌ってくれたのでたのしかったです。 3年 矢野 直子さん

みんなのアルバム

「祝 澤田ちゑ様 102歳」誕生日お祝会の開催

「澤田ちゑさん」皆さんとともに、楽しい一日を過ごされました。



誕生ケーキとロウソクを前に、ちょっと“お澄まし”の「澤田ちゑさん」



ご家族からの“花束”のプレゼントです。



誕生日のお祝いに駆け付けてくれました、咸新小学校3年生の皆さんです。



児童の皆さんから、“歌”と“踊り”をご披露いただき、楽しいひとときを過ごしました。

平成19年「溪山荘新年会」の開催

1月6日「溪山荘新年会」が開催されました。ごちそうをいただき、歌に盛り上がり、新しい年もきっと“いいこと”がありますように!!!!!!



皆様方にごあいさつ申し上げる 櫻井施設長



元氣よく、“お正月の歌”をいっしょに歌いました。

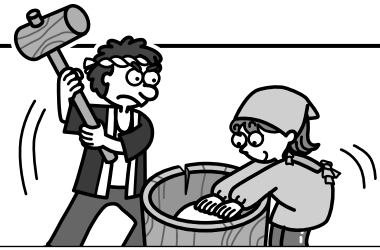


入居者の方と職員の“カラオケデュエット”です。ヨォー お二人さん!!!!



入居者の皆さん、ごちそうの前に ハイ 手拍子!!!! もり上がっています。

ス・ナ・ツ・ブ
あんなこと・こんなこと



1月6日「尾田清子様」"米寿"お祝会が開催されました。
おめでとうございます。



1月10日「新春書初め大会」を開催いたしました。
皆さん、お上手ですよ!!



1月20日「誕生会」を開催いたしました。
1月誕生月の皆さん、ご家族の方々に囲まれ 一同「ハイぱちり」



誕生会に合わせて、「餅つき大会」を開催いたしました。
"ペタンペタン" "フーフー" あったかいお餅は美味しいですよ!!!



3月1日「魚住たか様」"白寿"お祝会が開催されました。
おめでとうございます。



3月19日「春の彼岸法要」が開催され、永覚寺住職様より、
お彼岸のお話しをお聞かせいただきました。



3月22日「松原児童館」の児童の皆さんの友愛訪問をいただき、
楽しいひと時を過ごさせていただきました。ありがとうございました。



松原児童館の皆さんの、「歌と劇」日頃の練習の成果を
拝見させていただきました。また、是非お訪ね下さい。

高齢者とケア

「栄養ケアマネジメント業務」 を通して

管理栄養士 西田 幸代

私が溪山荘に就職して、給食業務と栄養ケアマネジメント業務に携わり、早や一年が過ぎました。平成17年10月に導入された栄養ケアマネジメント体制により、従来の集団的なサービスとしての給食・献立作業業務から、個人の栄養状態の評価・判定に基づいた栄養ケアの提供へと変革がなされているさなかであり、試行錯誤を繰り返し続けた一年でした。

ご利用者の方々の身体状況や喫食量、食事形態の変化などを把握し、定期的にモニタリングしていく中で、

初めのうちは低体重が改善しないことや食事摂取量が少ないなどの客観的なデータを前にして悩むばかりでしたが、様々な行事や食事の様子を通じてご利用者一人ひとりの顔や名前を覚え、介護支援専門員や看護職員、介護職員、そしてご利用者本人から話を伺っていくうちに、低栄養状態の改善のみが重要なのではなく、一人ひとりの栄養状態を把握した上で、より自立した生活を送っていただくためにどのような支援ができるかが重要なのではないかと思うようになりました。

味付けはもちろん、一人ひとりの必要な栄養量、咀嚼・嚥下常態、嗜好にあった食事を提供し、それがご利用者の方々の生活の楽しみの一つとなり、健康の増進と低栄養状態の改善につなげられるよう、力不足ではありますが、給食業務と栄養ケアマネジメント業務を連動させた支援に努めてまいります。

デイサービスセンターだより



1月20日「初詣」に気比神宮に出かけました。本殿の前でハイ ぱちり!!!



おみくじを引きました。大吉です!!! 今年はずっといいことがありますヨ。



2月2日「節分」豆まきを実施しました。“年男”“年女”利用者お二人を囲んでハイ ぱちり!!!



3月5日ゲームサークル風景、ボーリングです。職員の顔写真のピンを狙ってソレー!!!



利用者の皆様の「書道サークル」作品集です。



利用者の皆様の作品です。「かわいい子イヌちゃん」が出来上がりました。

情報公開について

- 溪山荘におきましては、入居者・通所者の方々の申し出（苦情・要望・意見・相談等）につきましては、誠意をもって話し合い、解決に努めています。また、相談等の内容につきましては匿名にて情報公開いたします。詳しいことにつきましては、当事務所までお申し出下さい。
- 事業計画・財務内容等につきましては、閲覧が可能となっております。
- 見学・訪問等を希望される方は、いつでもご連絡下さい。

「溪山荘」相談・苦情等件数（平成19年1月から3月まで）

- ・特別養護老人ホーム……………なし
- ・ショートステイ……………なし
- ・ディサービス……………なし
- ・居宅介護支援事業所……………なし

ご協力ありがとうございました。19年1月1日～3月31日(敬称略)

ボランティア

睦 会……………	おむつ・洗濯物たたみ	13回
栄光ボランティア……………	”	6回
敦賀市民生児童委員協議会連合会……………	”	1回
退職教職員会敦賀支部……………	おむつ・洗濯物たたみ 囲碁ボランティア	7回
太陽の家利用者……………	おむつ・洗濯物たたみ	3回
若ふじ会……………	踊り指導	6回
勸日本3B体操協会関西地区……………	3B体操	3回
平松佳那子(曙町)……………	おむつ・洗濯物たたみ	3回
岸本 幸子(清水町2)……………	”	3回
清水 静子(元町)……………	”	3回
山本 聡(新和2)……………	囲碁ボランティア	12回

寄付金品

・鞠山 濱本 光治	・若狭町 武岡郁太郎
・美浜町 石原 正一	・ 中 奥田利三郎
・井川 竹内 正延	・阿 曾 石山美恵子
・三島町2 魚住雄一郎	・新和町1 久野緋佐子
・舞崎町 竹中 勇三	・杵 見 辻 博史
・杵 見 増田 湯一	・昭和町2 井野 龍子
・千葉県 熊谷ツヤ子	・相生町 田村 寿子
・苜生野 山 貫 香	・相生町 眞田 辰男
・櫛 林 堂林三枝子	・清水町1 田中 清彦
・余 座 小牧かまぼこ	・結城町 鈴木 源治
・鞠山 濱本美枝子	・横 浜 水上ささの
・昭和町2 村井 信一	・長 沢 加藤 春枝
・井川 東郷保育園	・駄 口 篠原 花子
・松島町2 森本 望	・藤ヶ丘 奥田 耕三
・櫛 川 稲葉 幸恵	
・五 幡 瀧波 文雄	
・神楽町2 山本喜代子	
・岐阜県 三谷 茂人	

来訪・交流

1月18日	認知症実践者研修	2名	現場研修
3月5日～9日	アイビー医療福祉専門学校生	2名	介護実習
3月19日	永覚寺住職様		春の彼岸法要
3月20日	咸新小学校3年生	24名	友愛訪問
3月22日	松原児童館	34名	友愛訪問

編集後記

烈華の候、まさしく花が激しく咲き乱れる季節です。新しい平成19年度を迎え、溪山荘では、31名の新入職員が採用となりました。皆さんピッカピッカの一年生です。4月2日、神谷理事長から辞令が交付され、また、訓示がなされました。

理事長は、利用者の方々の“心”と“体”を思いやり、介護に携わる職員としての精神と技術を磨き、職員個々の業務の範囲を超えるような取り組みが職場の和を作り、市民の方々に選ばれる施設となるよう尽力いただきたい、という訓示があり、職員一同、理事長のお話を肝に命じ、市民に愛される施設を目指し、前進いたします。

皆様方のなご一層のご支援・ご鞭撻をよろしく願いたします。 編集委員 中川 諒

ありがとう ございました

